

工事項目	施工面積	施工単価	金額	備考
新築建物	36,000㎡	48万円	172億8000万円	450床×80㎡
現病院建物解体	35,790㎡	3万円	10億7369万円	
合計			183億5369万円	

▲船橋市「医療センターの建て替え検討のための基礎調査業務 調査結果」より (2015年2月)

療センターの建て替え検討のため基礎調査の結果によると、現地建て替えの概算工事費はさらに低く約180億円です。現地で建て替えは移転新築に比べ、「費用や工期など総合的にデメリットが多い」と結論づけられました。

しかし今、移転新築の費用は、地盤の調査結果が分りました。その結果、軟弱な沖積層が堆積した沖積低地、いわゆる軟弱地盤です。読売新聞は9月5日、「病院予定地 液状化懸念」と題し、この件を報道。防災専門家の「周囲の台地と比べると震度で1〜1.5、被害で10〜50倍は違う」「杭を打って建物の倒壊を免れたとしても、建物は大きく揺れ、中の人や機器は安全ではない。道路も亀裂が入ったり陥没したりする」などの警告を掲載しました。

日本共産党は9月12日、市議会で「軟弱地盤への災害拠点病院の移設は誤りと認識しているか」と市を質しました。市はそれに答えず、「救急動線などの液状化対策を行う」と説明に終始しました。

日本共産党が「液状化対策をして、専門家は『道路が破壊され救急車が通れなくなることもあり得る』と言っている。この認識を認めるか」と追及すると、副病院局長は「敷地内の道路に耐震設計という考えはないが、支持力(※)については公道と同様に定められた試験に基づき確認し、適正に施工する」と答えました。専門家の認識を認めるかという質問には一切、答えませんでした。(※支持力=車両など道路にかかる上からの力を支える力・反発力のこと)



183億円と、3分の1だったことが日本共産党の調査で明らかになりました。

同日、市が公表した「医療センターの建て替え検討のための基礎調査結果」によると、現地建て替えの概算工事費はさらに低く約180億円です。現地で建て替えは移転新築に比べ、「費用や工期など総合的にデメリットが多い」と結論づけられました。

日本共産党は9月12日、市議会で「軟弱地盤への災害拠点病院の移設は誤りと認識しているか」と市を質しました。市はそれに答えず、「救急動線などの液状化対策を行う」と説明に終始しました。

日本共産党が「液状化対策をして、専門家は『道路が破壊され救急車が通れなくなることもあり得る』と言っている。この認識を認めるか」と追及すると、副病院局長は「敷地内の道路に耐震設計という考えはないが、支持力(※)については公道と同様に定められた試験に基づき確認し、適正に施工する」と答えました。専門家の認識を認めるかという質問には一切、答えませんでした。(※支持力=車両など道路にかかる上からの力を支える力・反発力のこと)

日本共産党船橋議員団

# ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005  
千葉県議 丸山 慎一 ☎047-424-6347  
<市議団控室☎047-436-3030 FAX047-420-7201>

船橋市議

岩井友子 ☎047-438-8647  
金沢和子 ☎047-422-5278  
かなみつ理恵 ☎047-473-0678(事務所)  
神子そよ子 ☎047-769-7271  
松崎さち ☎047-401-3925(事務所)

▲市議団ホームページ



◆船橋市立医療センター付近の様子 (2023年6月撮影)

昨年12月から今年1月にかけて、海老川上流地区に移転する医療センターの設計委託先「日建設計」から、計画地は「想定よりも悪く弱い地盤」「共用開始後から10年程度の間5〜10cmの地盤沈下の発生が想定される」などと報告を受けていたことが分かりました。それでも移転事務を進める市の姿勢が厳しく問われます。

日本共産党は9月12日、市議会で「軟弱地盤への災害拠点病院の移設は誤りと認識しているか」と市を質しました。市はそれに答えず、「救急動線などの液状化対策を行う」と説明に終始しました。

日建設計によると計画地は「台地」ではなく「沖積低地」、いわゆる軟弱地盤です。読売新聞は9月5日、「病院予定地 液状化懸念」と題し、この件を報道。防災専門家の「周囲の台地と比べると震度で1〜1.5、被害で10〜50倍は違う」「杭を打って建物の倒壊を免れたとしても、建物は大きく揺れ、中の人や機器は安全ではない。道路も亀裂が入ったり陥没したりする」などの警告を掲載しました。

日本共産党が「液状化対策をして、専門家は『道路が破壊され救急車が通れなくなることもあり得る』と言っている。この認識を認めるか」と追及すると、副病院局長は「敷地内の道路に耐震設計という考えはないが、支持力(※)については公道と同様に定められた試験に基づき確認し、適正に施工する」と答えました。専門家の認識を認めるかという質問には一切、答えませんでした。(※支持力=車両など道路にかかる上からの力を支える力・反発力のこと)

## 大地震で医療センター周辺

### 道路陥没 船橋市 否定できず